

「日本会議」に関する5つの文献の紹介

運営委員 針谷 正紀

第3次安倍政権はこのたびの参議院選挙で消費税の引き上げを延期し、アベノミクスの「成果」を前面に押し出すいつもの選挙戦術を展開することによって、大勝しました。参議院での憲法改正発議に必要な三分の二を自公・大阪維新等で確保したため、いよいよ国会での憲法審査会で「お試し改憲」の動きに出ることが予想されます。この改憲の悲願を達成するために安倍晋三という人物に接近し、宗教とナショナリズムが結合した全体主義思想を吹き込み、教育してきた組織が今年に入ってにわかにはクローズアップされ一部メディアに登場しました。その名を「日本会議」といいます。この5月以降、ベールに包まれたこの組織を俎上に乗せ、さまざまな角度から分析し解明した書物が下記の5著作です。

- * 日本会議の研究 菅野 完 扶桑社新書 ①
- * 日本会議とは何か 上杉 聡 合同出版 ②
- * 日本会議の全貌 俵 義文 花伝社 ③
- * 日本会議の正体 青木 理 平凡社新書 ④
- * 日本会議 戦前回帰への情念
山崎雅弘 集英社新書 ⑤

上記著作の特徴を以下概観してみます。

- ① 日本の右傾化の淵源をたどり行き着いた先が日本会議であり、その中核を担う人々が70年代の右派系学生運動(旧 生長の家)の指導層であったことを解明する。市民運動が嘲笑の対象にさえなった80年代以降の日本で、めげずに、愚直、地道に、そして極めて民主的な王道を歩んできた「一群の人々」によって日本の民主主義は殺されると警鐘を鳴らす。
- ② 日本会議を「憲法改正」に突き進むカルト集団と規定し、神社本庁や各種新興宗教組織をバックに全国47都道府県全てに本部があり、そのもとにある支部組織は228に及び、連合組織にありがちな混乱や相互対立は全体を統括する指導層によって完璧にコントロールされ、この指導層の全貌は、外部からわからないように厳密

な秘密主義に覆われていると指摘する。

- ③ 日本会議が日本最大の右翼組織であり、安倍政権の民間における強力な支持母体であり、結成後、日本会議国会議員懇談会(日本会議議連所属281名)と緊密に連携して、憲法・教育基本法改悪、歴史歪曲教科書の採択推進などさまざまな策動を進めてきたことを明らかにしている。日本会議の運動パターンは、指導層が学生時代に「左翼」から学んだ方法を取り入れ、国会請願署名、地方議会決議、大規模なデモと集会、課題別組織の設立、国会議員(議員連盟)・地方議員(議員連盟)との連携を推進していく。
- ④ 日本会議とはいったいいかなる存在なのか。果たして「日本の最も強力なロビー団体」なのか。「極右」であり、「超国家主義団体」なのか。「安倍政権の中核でますます影響力を強め」ていて、「内閣を牛耳」っているような組織なのか。その真偽を含め、取材によって日本会議なる組織の実情を描き出し、現代日本におけるその存在の意味と今後を洞察する。
- ⑤ 安倍政権と日本会議がなぜ日本国憲法を憎むのかを歴史的に明らかにする。欧米メディアが「日本最大の右翼組織」と報じる日本会議。安倍政権の閣僚の8割が日本会議と直接的に繋がる議員団体に属するなか、日本の大手新聞・テレビは両者の関連性をほとんど報じてこなかった。本書では日本会議の人脈・組織と戦前戦中を手本とする価値観、教育や靖国をめぐるその運動を詳説し、日本会議と安倍政権が改憲へと傾倒する動機が、かつて日本を戦争に導いた国家神道を拠り所とする戦前回帰への道筋にあると指摘。

この5冊を読んでみて、「日本を取り戻す」という自民党のキャッチフレーズ・18歳選挙権の導入・自民党憲法草案・サミット会場を伊勢にしたことなどの全てが日本会議から発信されているのではないかという疑念を持ちました。

上記著作の1冊でも手にし、お読みになることをお勧めします。